

学校図書館資料を活用した授業 「報告書を書く」(旭小学校)

ねらい

百科事典の便利さを知るとともに、調べる楽しさを感じる。
定義をおさえることの大切さに気づく。

授業の概要

報告書を書く活動を通して、分からないことを明確にしたり、百科事典を用いた調べ学習を行ったりする。

- 準備物 : 百科事典3冊(セット)・謎カード*
- 対象 : 3～6年生
- 流れ等

① 報告書について知る

【報告と書について】

「報告」は、分からないことを調べて答えを探し、他の人に知らせること、「書」は文字を書いたもの。

② 謎を決める

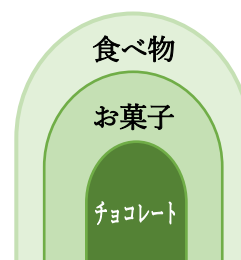
【謎の決め方】

・何を調べていいか分からないときは、大・中・小とテーマをだんだん絞る。

食べるのが好きだから、「食べ物」について調べたい。
食べ物の「お菓子」について興味がある。
お菓子の「チョコレート」について調べよう。

・絞ったテーマに「いつ」「どこで」「誰が」「何を」「いくつ」「どうした」「なぜ」を加える。

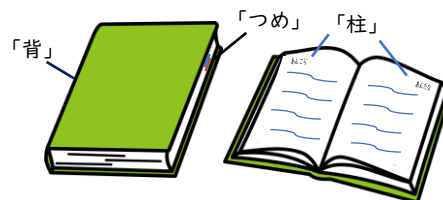
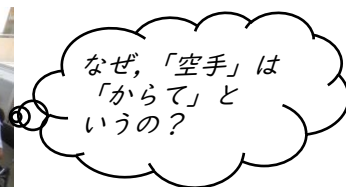
〔チョコレートは、いつできたの？誰が作ったの？〕



③ 答えを調べる

【百科事典について】

- ・百科事典とは、たくさん(百)の分野(科)の出来事(事)が書いてある本(典)
- 百科事典は1セットで1冊。(例えばポプラディア第3版は18巻セットで1冊)
- ・百科事典を引くときは、「背」を見て「つめ」を見て「柱」を見ると早い。



④ 報告書を書く

【構成について】

- ・報告書には、「名前」「所属」「日付」「謎」「答え」「出典」を書く。
- ・日付は大切。常に世界は動いており、いつの時点の報告書であるかを示す必要がある。